

**Adult Only**



**IMPRISONED  
FAIRY PRINCESS**

**Presented by**  
**WHITE GARDEN**



く、くそ……っ



あははははははは  
イイザマだね  
キリト君

キ、  
キリトくん

須郷：  
アスナから  
離れろ……っ



れろろ

折角の特等席なんだ  
そこで串刺しのまま  
僕とテイターニアの  
行為を目に焼き付けて  
おくといいよ

いや……っ



んんっ!?

ぶちゅ



す、須郷…  
貴様殺す…

んっ

んぐっ



ちゅるるる

んんっ!?



んっ

ちゅ

ちゅ

んふっ



ああ…っ

はあ

はあ

ふはあ

ほら、テイターニア  
這いつくばってる  
キリト君に何か  
言ってあげなよ



わ、私は  
大丈夫だから…

キリトくん  
そんな顔  
しないで…

アスナ…



好きにすればいいでしょ

本当に最低な人ね

いいね、それでこそおもしろいがあるというもんだ  
それじゃあキリト君の目で見ると遠慮なく君の体を堪能させてもらうよ



感じてるんだろ？  
ほら、キリト君にも聞こえるようにもっと声を出していいんだよ

誰が声なんか…  
大丈夫…これくらいならまだ耐えられる…



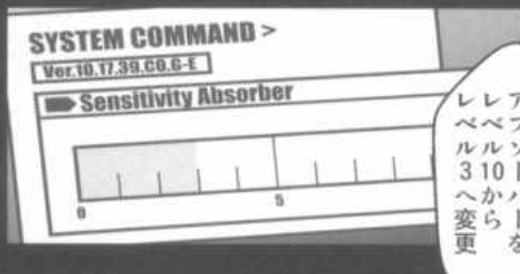
それじゃあ遠慮なく  
んっ!?



……っ  
んんん  
んんん



おかしい  
さつきと感覚が  
全然違う



ひゃあ!?



反応がないと  
つまらないね  
仕方ない



だからほら  
さつきよりも  
感じるだろ?



んあっ!?



何って、ちょっと素直に  
なれるように感度の  
レベルをあげただけだよ



わ、私の身体に  
一体何をしたのっ!?



ああ  
ああ...

だめえ声を我慢  
しないとキリトくん  
聞こえちゃうのに...



ふあ  
ああっ  
あ...





きゃっ!?

はあ

はあ

はあ

ドサッ



なかなか派手にイッたようだね

びん

はあ

びん

はあ

はあ

はあ



パチパチ



今度は僕を気持よくしてもらおうか

ヒッ!?

びん



さあテイターニア起きるんだ

ぐいん

あ...っ





テイターニア

まだ、君は自分の立場がわかっていないようだね



何を驚いているんだい？ SAOの世界でそのキリト君にしていた事を僕にもやっておくれよ

い、嫌よ!!  
誰があなたの何か...!!



キリトくん



っ!?  
ペイン  
アブソーバーを  
レベル3へ



くっ!!



ぎや~~~~!!





こんな事早く  
終わらせたい  
だけよ

巫山戯たことを  
言わないでよ

キツ



だったら僕も協力  
してあげるよ

ガシッ



へえ〜  
啜えたら随分と  
積極的じゃないか

んむっ

ちゅぷ

ん…っ

キリト君にS.A.Oで  
そうやるように  
仕込まれたのかい？

んぐっ

ちゅぷ

ちゅぷ

ちゅぷ



ほら早くいかせ  
たいんだろ？

だったら、こうやって  
もっと奥まで啜えて  
強く吸うんだよ

ぐぽ  
ちゅぷ

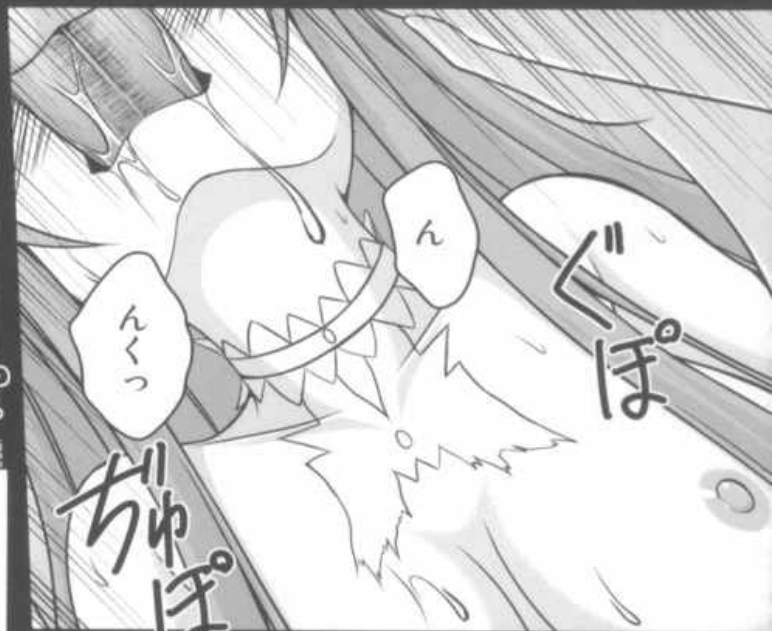
ちゅ

ずちゅ



グッ

んぐっ!?



ああいいぞ  
やっとなマンコ  
らしくなってきた  
じゃないか

ぐぽ



ロマンコって…

私の口は  
こんな事するため  
あるんじゃないわよ

その反抗的な目も  
たまらないねえ

く、苦しい…  
喉の奥まで  
入って息が…



そうだ  
ティターニアもつと  
激しくしゃぶるんだ

ああ…そう  
すごくいいよ

このまま  
口の中に射精すから  
こぼすんじゃないぞ



ティターニア射精くよ  
しっかりとその  
口マンコで味わうんだ!!

んんん!!

ドピュッ

ビュルルッ



はあ  
げほ

はあ  
げほ



こ、これでもう  
満足したのでしょ?  
早く私達を  
解放してっ!!

何を言ってるんだい?  
本番はこれから  
じゃないか!

っ!?



んんん

さあきちんと  
全部飲み干すんだ

んんん



いいいや...  
来ないで...っ

びっ

ずいっ



須郷  
やめろ~~~~!!



君はそこで僕達の  
行為を目に焼き  
つけておくといいよ

ニヤッ



お、お願い  
それだけは...

さあ  
観念するんだ

ぬが



やだ...  
キリトくん以外の  
入ってくる...

びく

ああ  
いやあ

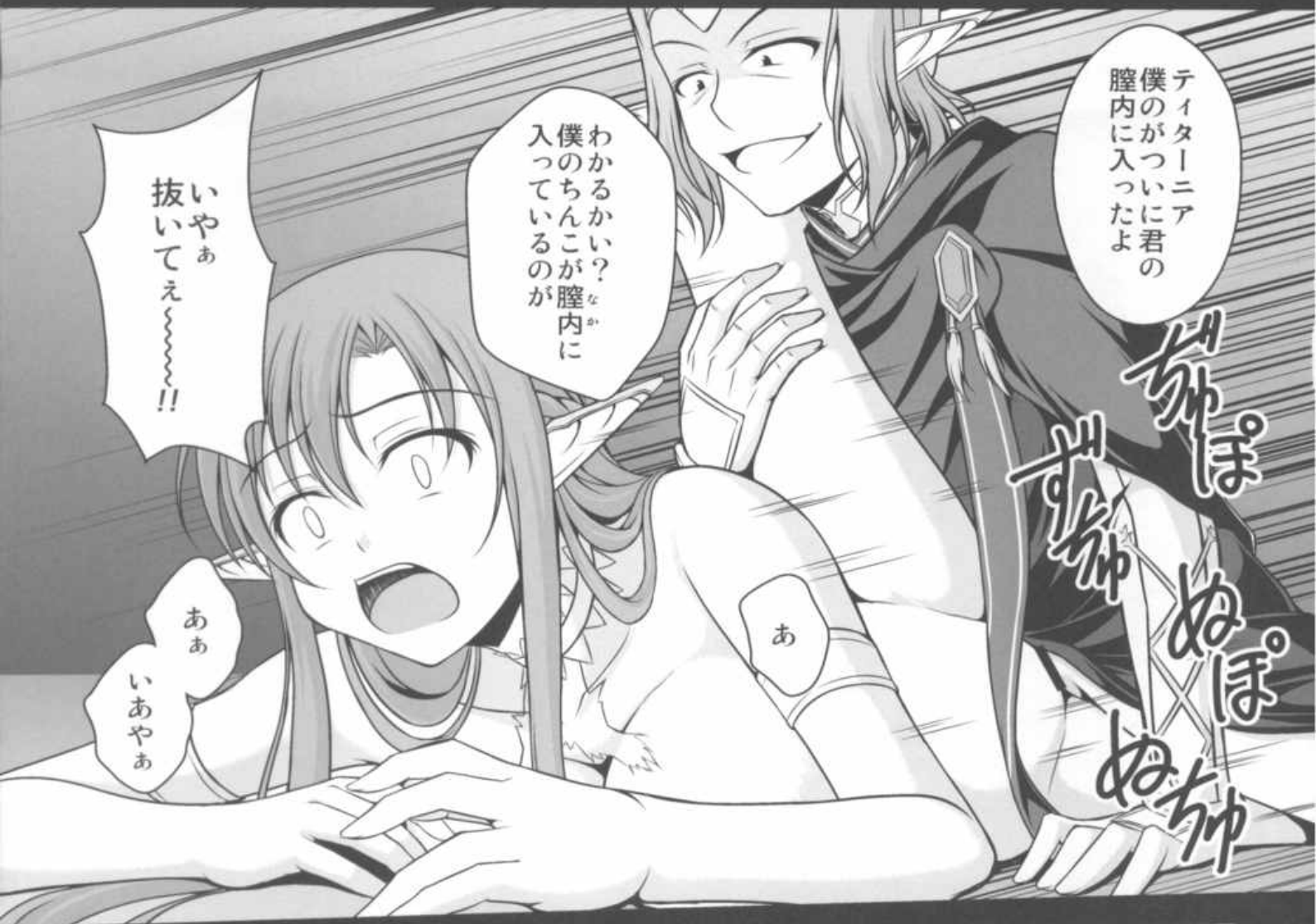
それじゃあ  
念願のティターニアの  
初めてをいただく  
しようか

ズッ  
ズッ

なっ!!



ズッ  
ズッ  
ズッ



テイターニア  
僕のがついに君の  
膾内に入ったよ

わかるかい？  
僕のちんこが膾内  
に入っているのが

いやあ  
抜いてえ〜！！

ああ

いやあ

あ

ぬぽ  
すぽ  
ぬぽ  
ぬぽ



だったら、  
キリト君に今どんな  
顔してるか見て  
もらおうじゃないか

っ!?



何をそんなに  
嫌がってるんだい？

感覚が通常より  
鋭くなったままなんだ  
キリト君とするより  
気持ちいいはずだよ？

ふあ

そんな訳…

ぬぽ  
すぽ  
ぬぽ



ほら、キリト君  
見えるかい？

僕のチンコで突かれて  
よがってるテイターニアの  
だらしない表情を…

いや…キリトくん  
お願いみないで…

アスナ…

ぬぽ  
ずちん  
ぬぽ  
ずちん  
ぬぽ  
ずちん



あはははっ  
いい顔だね〜キリト君

これからテイターニアの  
よがり狂う声をたくさん  
聞かせてあげるからね

誰が声なんか  
あげるのですか…





びん

ひやう!?

ずちゅん

そんな強がりも言っても無駄だよっ!!

ずちゅん...



ちが...っ

本当はこうやって激しく突いて欲しかったんだろ?

びん

びん

ニヤッ

ああ

あ

はあ

いや...

おぎゅ

あはははは  
体は正直だね

口では強がっていてもこの有様だ

ぬゅん

ぬふい

あ...

こんなの嫌なのに...  
身体が...

はあ



ああ  
だめ...

そんな奥まで...  
突かないで...

ゴッ

ぎゅ

ずちゅん

ずちゅん

ゴリッ

何が違うんだい?  
奥を突く度にまるで  
喜んでるかのようで  
ギユウギユウに締め付けて  
来てるじゃないか

ぎゅ  
ぎゅ



キリトくんが  
目の前にいるのに

私もう何も  
考えられなく  
なっちゃう



ほらティターニア  
こっちを向くん

いやあ…  
キスはだめえ…



今こんな  
舌を絡められたら…



続けて…  
欲しくなんか…

どうしたんだい？  
そんな残念そうな  
声を上げて  
ひよっとして  
もっと続けて  
欲しかったのかい？





アスナ駄目だ  
もっと気を  
しっかり持つんだ



ああ…今ここでしか  
味わえない快楽を  
体験させてあげるよ

本当かい？  
ティーターニアが  
望むのであれば  
今よりもっと気持ちよく  
してあげるよ

これより…  
もっと…



お願いしますっ

もっと気持ちよく  
してください



ほら、ティーターニア  
どうするんだい？  
気持ちよくして欲しいなら  
きちんとお願いするんだ

キリトくん  
ごめんなさい

聞こえないな

…します



じゃあお望み通り  
気持よくして  
あげるよ

ああああ

やだ…  
何これ…

ああ  
それだめえ

あっ



いやあ  
やめないで

もっといっぱい  
突いてえ



だめならやめても  
いいんだよ?

キリトくんと  
した時より比べ物に  
ならないくらい  
気持ちいい…

そんなに  
僕のチンポが  
気に入ったのかい？

すくすく  
ちゅぽ  
ちゅぽ  
ちゅぽ  
すくすく  
ちゅぽ  
ちゅぽ

あっ

ああ

いっ  
いッ

ああ

イク時はたくさん  
膣内なかに射精だして  
あげるよ

ああ…っ

な…か？

ああそうだよ  
忘れられないように  
たっぷり子宮に  
注ぎ込んであげるよ

すくすく  
ちゅぽ  
ちゅぽ  
ぬい  
ぬい



こんなにしがみついて  
ティターニアも  
腔内<sup>なか</sup>射精<sup>だ</sup>しを  
望<sup>ぞ</sup>んでるんだろう

あつ  
ああ……つ

は

はあ

ぐゅぶ  
ずゅ



ティターニア  
いくよ

しっかりと腔内<sup>なか</sup>で  
受けとめるんだ

ああ  
射精<sup>だ</sup>して  
私の子宮<sup>だ</sup>に  
たくさん射精<sup>だ</sup>して

ガシツ  
ぬちゅ  
ずゅ  
ず



今から子宮<sup>だ</sup>の一番奥に  
たっぷり射精<sup>だ</sup>すからな

ずりゅ  
ずりゅ

あ……ああ  
射精<sup>だ</sup>して



あ……  
ああ……

ああ

ドグッ

ドグッ

びん  
びん



それじゃ僕は現実に戻って、  
今度は実際の身体を  
味あわせてもらうとするよ

キリト君、明白菜君を  
守りたかったら  
僕よりも早く病院に  
到着することだね



ティターニア  
君の身体は本当に  
最高だったよ

あ

あ  
あ  
あ

明日菜!!

ニヤッ

結城

頼む…  
間に合ってくれ

桐ヶ谷くん随分と  
遅かったじゃないか

余りにも遅い  
もんだから先に  
始めさせて貰ったよ

っ!?

明日菜…

しかし残念だったね  
あちらの世界の影響か  
こちらの明日菜君も  
もうご覧のとおりだよ



見てキリトくん

キリトくんが遅いから  
私、須郷さんにたくさん  
中出しされちゃったよ

だってあっちでされた  
感覚がまだ残ってて我慢  
できなかったんだもん

これでわかっただろ？  
折角頑張ったのに  
君のやってきたことは  
すべて無駄だったんだよ

うわああああ

END

■ あとがき ■

この度は、本をお手にとっていただき  
ありがとうございます。  
アニメとか終わってしまいましたが、  
SAO描きたくなかったのでアスナさん本です。

しかも今回は普段ラブイチャばかりしか描いてなかったのに  
陵辱モノが無性に描きたくなかったので、このような本になりました  
ネタとか絶対かぶってるけど、そんな事気にしない！！

しかし、慣れないことはするもんじゃありませんね～  
NTRモノ描くぞーと、気合を入れたのはいいのですが  
ちっともそれっぽくならなくて泣きそうでしたよorz  
いたらない部分しか無いと思いますが、一生懸命描いたので  
少しでも活用していただければ幸いです(笑)

次回ですが、たぶん「艦これ」で申し込むかと思います。  
知り合いの提督さんに薦められて、はじめてみたら  
どっぷりハマってしまいましたよ(´・ω・`)

島風ちゃん可愛いよ  
瑞鶴さん欲しいけど、全然造れません(´・ω・`)  
あと2-4が、羅針盤さん強すぎて、ちっともボスに辿りつけないよ  
燃料なくなるよ！！

さて、今回も印刷所様に大変ご迷惑をかけておりますのでこの辺で…  
本当に、最後まで読んで頂きましてありがとうございます。

あと、今回も手伝ってくれたつくねさんありがとう。

それでは、ご縁がありましたら、  
また次の作品でお会いいたしましょう。

2013年 8月 ゆき

■ 奥付 ■

発行日  
2013年8月11日

発行  
WHITE GARDEN

連絡先  
pixiv:<http://pixiv.me/shironiwa>  
Email:[white\\_garden@r4.dion.ne.jp](mailto:white_garden@r4.dion.ne.jp)  
TwitterID:shironiwa\_yuki

印刷  
ねこのしっぽ様